

ながの環境パートナーシップ会議  
平成22年度第7回 幹事会 会議記録

日 時 平成22年11月2日(火)18時10分から19時10分

場 所 会議室16(市役所第二庁舎9階)

出席幹事 6人

(弓場、高木、金井、渡辺、中村、水野)

欠席幹事 1人

(安藤)

会議内容

- 1 スキー場跡地の自然復元プロジェクトの予算流用について  
調査器具借損料等の予算10,000円をどんぐりポットの購入費に充てることについて、承認された。
- 2 新入会員研修会について  
日時・場所・内容について確認、司会進行をみどりの市民にお願いし、2009、2010年入会者に通知することになった。チームリーダーにはチームの活動内容について資料を作成していただきたい旨お伝えし、研修会出席もお願いすることになった。参加申し込みは事務局に、メールなど。
- 3 生ごみの削減・再利用システム構築チーム視察旅行の報告と旅費の精算  
旅行の内容についての報告と旅費の支出についての報告があった。(別添資料)
- 4 旅費規程の申し合わせ事項の確認
  - 1 1月2日平成22年度第7回幹事会申し合わせ事項として以下の内容が承認された。
    1. 視察旅行・研修旅行・講演会への出張は必ず幹事会での事前承認を必要とする。  
前述3種の旅行にあてはまるか判断できない場合は必ず事前承認を必要とする。
    2. 緊急に幹事会の承認を得る必要がある場合は、代表幹事あて連絡し、代表幹事から全幹事にeメール等で了承をとり、直近の幹事会で事後承認することとする。
- 5 ライトダウン企画(案)について  
冬のライトダウンについて、渡辺幹事から企画の説明があった。JR長野駅の広場での開催を予定しているが、信州ディスティネーションキャンペーンでイルミネーションをやっている、それをライトダウンしてもらえるかどうか微妙。しかし、長野らしいイベントをやることで、協力してもらえればと考えている。
- 6 プロジェクトチーム活動報告  
(太陽エネルギー普及促進、トレイ・レジ使用削減、市民の森づくり)  
活動記録票により報告
- 7 その他
  - ・ 長野県環境審議会委員推薦について(小山監事の推薦)
  - ・ 青年海外協力隊環境教育隊員の報告会名義後援について(サモアへ派遣された市高齢者福祉課職員武田 敦岐氏のサモアの環境問題やマイバッグコンテストについて講演)以上の2件について、先にメールで了承いただいたものをあらためて幹事会にて承認とした。

## 今後の日程等

### 幹事会

- (1) 日時・場所：12月9日(木)18:00～ 会議室16(市役所第二庁舎9階)
- (2) 内容：生物多様性地域懇談会開催、ちらし作成・ロゴマーク募集ほか。

## お知らせ

平成22年11月27日(土)、パートナーシップ会議の研修会を開催します。対象は今年度の新会員とチームリーダーですが、会員はどなたでも参加可能です。「パートナーシップ会議って、どういう団体なの?」「どんなことを目指しているの?」「他にはどんなプロジェクトがあるの?」「私はパートナーシップ会議のこんなところを直してほしい!」などなど、「ながの環境パートナーシップ会議」のことを知りたい、聞きたいという会員の方、ぜひご参加ください!

## 主な意見・質疑等

### 1 スキー場跡地の自然復元プロジェクトの予算流用について

- ・ 予算流用については幹事会の決議事項なのか  
流用については、支出する内容が変わったり、支出金額が増えたりする場合には幹事会での承認が必要。
- ・ 2年目以降については、どうだったか。  
今年度の予算のうち、圃場借地料・管理料は来年度かかってくる。今年は10月から5月までの8か月分だが、来年6月以降かかってくる。その他は来年度講座を開催したりすればかかってくる。リーフレットも今年作成する予定になっている。
- ・ いずれにしても、来年は他のプロジェクトと一緒に予算を作るので、その時にまた確認する。

### 2 新入会員研修会について

特になし。

### 3 生ごみの削減・再利用システム構築チーム視察旅行の報告と旅費の精算

- ・ 11Pの7000万トンは合ってるのか。すごい量。7000トンの間違いではないか。  
確認する。(再度確認したところ、1500トンが正しい数字でした。)
- ・ この後の展開が見えてこない。すぐに展開できるのか、どういう課題・問題があるのか報告書からは分からない。  
視察研修の内容については、報告会をされるということなので、そのときに今後長野市にどう生かしていくのかも内容に盛り込んでもらえれば。

### 4 旅費規程の申し合わせ事項の確認

- ・ これは、たとえば大岡に行く時にも旅費を出すということか。現実的に市民の森だつて、今は請求していないけど、請求すれば出すということか。  
そのとおり。請求されれば出すようになる。  
例えば、1番の文言で「ながの市内の日帰りの交通費は含めない」とするのはどうか。市外の場合は申請だしてもらって、市内の場合は出さなくてもいいような気がするが。  
発生するとすれば、ガソリン代やバス・タクシー(鉄道)代か。  
水チームでは、現地に行くと、ガソリン代と参加費として一人500円もらっている。  
中で処理しているチームがある中で、一つのチーム(学校版)だけ特別に書いておくのはよそからみて、どう思うか。

この1番の意味は、1回1回申請するという意味合いが含まれている。各チームでどういう状況が考えられるのか、最初にその状況になったときには交通費を払うということにしておけば、いちいち申請しなくても済む。(たとえば、水チームの今井団地での調査とか、学校版の学校訪問、レジチームのキャンペーンとか)

その場合は長野市内に限定されるか。

旅費規程では、「旅費」を定義していなかった。前回の幹事会で旅行は視察旅行・研修旅行で学校版は含めないと条文を変えるかという話があったが、条文は変えずに申し合わせでいいのではという話だった。だから、「旅行」の内容だけここで申し合わせればいいのではないか。

活動に対しての交通費は払う必要がないのではないか。みんな現地集合している。それぞれがばらばらに現地に向かう。交通費を払うのであれば、例えば市役所に集合して1台で行ってくれという話にならないか。だから、交通費が請求できるところだけ明確にしておけばいいのではないか。除外は明記する必要はないのではないか。

限定列挙して、それだけは申請してください、ということにするか。たとえば、視察・研修・講演会とか。

今の話だと、タクシーでしか行けない場所に行くときは請求出来なくなってしまう。それは困るという話がでてくるかもしれない。

タクシーで行くケースはまれなこと。基本的には自分の車で行って、請求していないことがほとんど。

限定列挙した視察・研修・講演会は必ず事前承認が必要で、そのほかは必要ないことにするか。

それだとそれ以外の交通費が出せない。

それ以外は活動費の中から出すようにするか。

今、手元にあって使える活動費はあるのか。

運営費としては渡しているところもある。学校版は別に予算付けしている。

限定列挙するのはこの3つでいいか。不明なものは事前申請してもらうか。

日々の活動の交通費については、出し方をはっきり決めていない。運営費から出しているがそれもチームごと違う。はっきり決めすぎてしまうのも、運用しにくい。

- ・ 3の内容について、本当は、幹事会の運営についてメールで決議できるようにしたい。ただ、規程にも入っていないことなので、どうしたらいいか。今、株式会社や公益法人では出来る。

今回、長野県環境審議会の委員推薦や環境教育隊員の報告会名義後援について、事前に幹事のみなさんに了承いただき、この幹事会で話して承認を、ということだった。

今年度はメールで諮って事後承認を必ずとるということできかがか。来年度は規程の中に盛り込む。メールで決議できることを明確にする。

規程は幹事会で決まればそのまま認められるが。

会則を変更する必要があるかどうかもある。安易に決めないほうがいい。

それでは、メールで諮って幹事会で事後承認をとるというのは、旅費に限らず全てということできかがか。

メールで諮ったときに一人でも反対意見があれば幹事会にかけるか否決としたほうがいいと思うが、反対意見がないときは次回の幹事会で正式に決議するというにしたらどうか。

緊急を要する場合ということか。

そのとおり

## 5 ライトダウン企画(案)について

特になし。

## 6 プロジェクトチーム活動報告

特になし。

